



エゴノキ (園芸品種)

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 園芸品種



科名 エゴノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

枝々にほのかな香りのあるピンク色の花を下垂させ、連なるように咲く。国内で作出されたエゴノキの園芸品種。ベニバナエゴノキ名で流通していたが、欧米でピンクチャイムと呼ばれるようになった。幼樹のうちには枝が枝垂れやすく、成木の枝はまっすぐ伸びない傾向がある。



Memo

下垂する花にクマバチが訪花する。体形は大きいが穏やかな蜂。つかんだりしない限り刺されない。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実									■				
黄 葉												■	
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■						★★					■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	○
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○			○	○	○

ポイント

エゴノキに比べ生長が遅く、高木にはならないので、庭園向き。ピンク色には株により濃淡の色幅がある。樹勢が衰えると花をつけすぎて枯れる事例がよくある。根周りの乾燥を防ぎ施肥するとよい。

剪 定

前年枝に小枝を密生してくるので、鬱蒼（うっそう）としないよう早めに枝抜き剪定にて風通しを保つ。刈り込みは避け自然樹形を生かす剪定がお薦め。湾曲した枝は切り戻すと樹形を維持しやすい。

病虫害

テッポウムシ（カミキリムシの幼虫）が幹に穴をあけることがある。アブラムシが発生することがある。新芽が房のように変形し、実の様な虫こぶを作るエゴノネコアシアブラムシもその一つ。